

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
ダイハツ工業 株式会社	取締役 <small>(生技・製造・調達ユニット担当)</small>	岸本 吉史	大阪府	製造業	https://www.daihatsu.co.jp

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019. 9. 20
-------	-------------

(取組方針)

- 事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

- 法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

- 運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	仕入先様や輸送会社様から荷待ち時間や付帯作業時間の削減要望等に真摯に対応し、早期改善に努めています。
2	A	③	パレット等の活用	積載効率の良いパレットや通い箱活用拡大により「ドライバー手荷役の削減」「輸送効率化」を積極的に取り組んでいます。
3	A	⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	長距離輸送による長時間拘束の無い、女性や60代以上のドライバーが働きやすい環境をつくる為、中継地を活用した輸送ルート見直し等に努めていきます。
4	A	⑦	運転以外の作業部分の分離	物流拠点構内の荷役作業とトラック運行業務の分離(のりつき運行)化により、女性/高齢者でも活躍出来る物流労働環境作りに取り組んでいきます。
5	A	⑨	荷主側の施設面の改善	両側荷降ろし可能なトラックレーンへの変更等、荷役時間短縮に向けて積極的に取り組んでいます。
6	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送に対して、陸上輸送からRORO船や鉄道のモーダルシフトへの転換を積極的に進めています。
7	D	①	荷役作業時の安全対策	物流エリアの安全性向上を目指し、「フォークリフト走行エリアの縮小化」「歩車分離化」を積極的に進めています。

PR欄	
-----	--